

主張

菅義偉総理が誕生し国民はその手腕に期待したものの、その実、発信力も弱く政府の顔が全く見えない。確かに欧米に比べて感染者数も死者数も段違いに少ないが、それは政府の施策のおかげでは全くなくファクターXのせいであろうか？アジアに特有の現象である。にもかかわらずなぜ日本は医療崩壊の瀬戸際に立たされているのか？

またアジアの諸国に比べて経済状況の悪化が激しいのか？失礼ながら日本のこれまでとつてきた新型コロナ対策には何か

大きな欠陥があるのではないかと考えざるをえない。日本は世界的に見てもトップクラスの急性期病床数を有するが、ICU病床数は医療崩壊を起こしたイタリアやスペインよりも少ない。また

日本の医師数を見ると、OECD加盟国の中でも平均以下、さらに病院の勤務医の慢性的な不足は皆さんご存じのとおりである。新型コロナ感染症拡大で、感染症対策をはじめ日本の医療体制の

脆弱さが図らずも露呈したと言えるのではないだろうか。よく言われる省庁の縦割りの弊害だろうか国と地方のズレであろうか、東京が1300人を超える感染者を出し、一都三

県の知事から要請を受けても迅速に緊急事態宣言を出せないのか出さないのか、スピード感が全く感じられない。確かに経済も大切ではあるが命あつてのことである。GOTOトラベルやG

TOイートがそんなに大事であろうか？本末転倒にしか思えない。厳密な感染対策と対応や、患者さんの受診手控えなどのため医療機関は大幅な減収となっており、医療関係スタッフや介護関連職

場での体力的精神的な疲弊・医療崩壊の危険性について何らかの対策を打つようにわれわれ保険医協会ははじめ医療関係団体は政府にお願いならびに提言してきた。しかしその対策は十分とは言え

ず大変な困難な事態が続いている。わが国には原発にしても感染症にしても変なムラ意識がある。西村康稔経済再生担当相の会見も失礼ながら心に響かない。今こそ菅義偉総理は人命第一を重視し国民に直接メッセージを発信すべきである。総理は、このコロナ

であろうか？はつきり申し上げて首相以下そのメンバーにその決意も覇気も全く感じられず大きな不安を国民は感じている。総理のこれ以上の判断ミスはまさに人災としか思えない。

国民並びに医療従事者に対する

コロナ対策の抜本的見直しを要求する

感染対策という重い課題に対して使命感を持っておられるの